

Now

Vol.24

2024.2.1 発行

Rebone

1976年に世界的な建築家、丹下健三によって設計された深田大橋が、1988年に開催された「ホロンピア88」の際、人と自然の博物館として生まれ変わり、現在に至っています。



特集：Re~



公益社団法人 三田市シルバー人材センター

公益社団法人 三田市シルバー人材センター
〒669-1323 三田市あかしあ台5-32-2
TEL: 079-564-7501 FAX: 079-553-1300
e-mail: sandasilver631015@sandasc.org



もう1回



のってみるかっ!

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

定年はまだまだ折り返し **Return**

過去の人生見直して **Review**

生活スタイル再構築 **Restore**

新たな能力に気付くかも **Remind**

あの日の雪辱を晴らすため **Revenge**

やってみようか再挑戦 **Retry**

更なる生きがい探求し **Research**

次の目標再設定 **Reset**

体調、気力回復させて **Refresh**

気分一新、再出発 **Restart**

新たな自分に生まれ変わろう！ **Rebone**

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

LLLLのRe~で新境地!

ここ数年、コロナ禍の影響や、テレビ番組やコーナーを設けて放送されることもあって、DIYが結構人気となっています。

昔、お父さんたちが腕を振るった「日曜大工」とは違い、扱いやすい電動工具や建築資材も増えたことで、老若男女を問わず、お部屋や古民家、更にはマンションまで、気軽にリフォーム、リノベーションを楽しんでおられるようで、思ったとおりに完成したときは、疲れも吹き飛ばすほどの達成感や、満足感を得られるのではないかと思います。

同じく、最近「リターンライダー」という言葉も、よく耳にすることがあります。

'80年代に、バイクのGPLレースを舞台にした、草刈正雄主演の映画「汚れた英雄」のヒットと共に、一大バイクブームとなったのですが、その頃熱中していた世代が、時間的に余裕のもてる50代、60代になり、再びバイクに乗ることに楽しみを求め始めたことから、この言葉が生まれたようです。



手入れの行き届いた往年のバイクを走らせたり、還暦以降に大型バイクの免許を取得し、1,000ccクラスのバイクにまたがって、各地のご当地グルメを楽しまれている方もあるようで、バイクへの愛着と情熱を感じます。

また、テレビでの歌番組が減少し、流行りの曲はダウンロードや、サブスクで聴くのが主流となった時代ですが、昭和世代の歌謡曲がCMソングで流れたり、TikTokでダンスに使用されたりして、リバイバル、リミックスによって、当時とは違うバージョンで耳にする機会も増えました。

今の若い人たちには、新鮮な曲に聴こえたり、何かの刺激になったりして、何度も何度も時代と共にリピートされています。

リアルタイムで聴いていた人にとっては、当時を思い出すと共に、共通の曲で世代を超えた交流ができる楽しみが生まれます。

さて、ここまで登場した「Reform」「Renovation」「Return」「Revival」「Remix」「Repeat」の全てが「Re~」ではじまる単語となっており、頭に「Re~」が付くことで、「再び」「更に」「反対」という意味合いになるようです。

「失敗しても、もう一度リベンジ。」「使わなくなった物は、捨てるにリサイクル。」「苦情があっても、素早いレスポンスで対応。」「嫌なことがあっても、気持ちをリセット。」など、どこかマイナスなことも前向きに切り替えられる、そんなイメージを持ってしまうのは私だけでしょうか。

今の生活を切り替えたい時、壁にぶつかった時、「Re~」の単語をきっかけにして方向転換、再発見、再出発してみてもいいのではないでしょうか？

レボリューションとまではいかないものの、新たな道や出会いがあるかも知れません。



Revolution 地域活動にじんわりレボリューション

古民家を利用して地域の多世代交流広場づくりが始められた「三田じばやん倶楽部」を訪問しました。兵庫県のみ交流広場事業としては、学校やコミュニティセンターの利用がほとんどで民家の利用は初めてのことです。

「じばやん」とは、じいさん・ばあさん・ヤングの略称で、みんなが集まって何かをする場所をイメージして名づけられたそうです。場所は、さんだ市民センター（旧三田中央公民館）の北側にあり、和の趣のある門と塀に囲まれた2階建てのお屋敷です。

知り合いのご住職が墨書されたという立派な看板の下で、シルバーグレイのヘアスタイルが素敵な、代表の藤村晴彦さん（通称 はこさん）が笑顔で迎えてくださいました。

藤村さんは生まれも育ちも地元の方で、区長やスポーツ推進委員等地域の活動に深く携わっておられた関係や、県が行う交流広場事業に興味を抱かれたこと、立地のいい場所に幼馴染のご実家が空き家になっていたこと、他、たくさんの方の協力のおかげで、「じばやん倶楽部」を立ち上げることができた



と振り返っておられました。平成25年に認可を得て設立され、平成26年1月から事業を開始し、令和5年3月に10周年記念じばやんまつりを開催されました。

多くの利用者が出入りし、活動できるよう、設立時に大幅にリフォームされたようですが、土間や縁側、床の間の他、欄間やガラス障子の和室、井戸もあり、昭和の暖かい雰囲気が残されており、日本家屋への思いと家主への心遣いを感じます。

「じばやん倶楽部」の活動は、毎月の定例行事をはじめ、季節ごとのイベントや、他団体とのコラボ事業などで、メインのスタッフ7人を中心にボランティアのスタッフが協力して運営されています。

取材当日は「いきいき百歳体操」が開催されており、10数名の方が集まって元気に体操をされていました。

他にも、大学生のボランティアが小学



生等の宿題を見る子供の居場所「まなびあ」や、不登校児童の親の交流会「トウモロウ親子サロン」、身近な材料を使った「じばやん手芸教室」、ノルディックウォーキングや映画上映を行う「ふれあいカフェ」、大人も利用できる子ども食堂「まかないキッチン」など、いろんな世代が自由に参加できる内容になっています。

更に、季節を通して地域に伝承されてきたひなまつりや七夕まつり、地藏盆、凧揚げなどの他、お花見、野菜の収穫祭、お餅搗き、などなど施設の内外を問わず、いろんなイベントを開催されています。昔に比べて、地域住民の交流が薄れていく現在において、世代を超えて連携できる仕組みが「じばやん倶楽部」の活動を通じて構築できるようで、明るく活力ある地域づくりが見えてきそうです。

人や地域をつなげる活動は並大抵ではないと思いますが、それを、気負わない藤村さんの人柄と周りで支えられているスタッフの方々により、毎回繰り広げられる数々のイベントが、地域活動にじんわりとレボリューションを起こすのではないかと期待が膨らみます。

シルバーで Let's **Re活!**



地域の資源を **再利用** Recycle
リサイクル
貴重な資源。古紙回収

永年の **常連さん** Repeater
リピーター
丁寧な作業で信頼関係を維持



年齢を忘れて **若返り** Rejuvenate
リジュヴネイト
ボウリング大会で一喜一憂

ちょっとした簡単な **修理** Repair
リペア
技術はセミプロ。志はプロ級



自らの経験を地域に **還元** Reduction
リダクション
子育て経験を活かして育児支援

趣味を通じて **気分転換** Refresh
リフレッシュ
仕事以外でも仲間作り、生きがい作り



今、実りの季節は心地
よい



健康で心豊かにと願う



迎える季節は

過ぎた季節は温かく
懐かしい



来る冬を考える

春と夏は思い出となり

私は秋



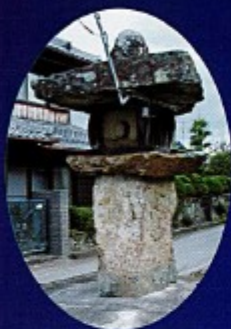
人生を四季に例えると

三田史 Research 常夜灯にみる三田の地の利

江戸時代の三田町が城下町であったことはご存知でしたか？当時の摂津国の大名の在所で城下町と扱われたのは、大坂の他には高槻、尼崎そして三田の3カ所のみでした。町(まち)としての三田の存在感は格別でした。

ところが三田市域において江戸時代の「町」は、三田のみではありませんでした。「町」の定義の仕方は様々ではありませんが、歴史地理的には①行政的に町とされていたところ、②同時代の人々が「まち」や「ちよう」と呼んでいたところ、③街道に面して家屋が密集するなど景観的に町場を形成したところ、などが「町」とみなせます。

市内上井沢の円照寺の参道近くの道路沿いに、大きな石灯籠があります。地元の方から、なぜお寺の参道に灯籠があるのか？との質問をいただいたことがあります。灯籠に銘は無く建立の時期や由来はわかりません。ほかに記録も見つかっていないので



確実なことは言えませんが、明治20年に測図された地図には、考えるポイントがあります。

地図をみると上井沢とその北側の加茂(現在の加茂上区周辺)には、街道沿いにこじんまりした街並みが形成されていることがわかります。二方向

に街並みが形成されていることから、上井沢・加茂周辺は街道の交差点であったこともわかります。すなわち上井沢や加茂は、先ほどの分類で③に該当する「町」だったのです。このうち上井沢については、古記録類に「井沢町」と記されている事例も複数確認できるので、分類②の「町」にも該当します。



ちなみにここで詳しくは触れることができませんが、当時の旅行案内などには井

沢町がよく掲載されており「町」としての認知度は高かった様です。いったい井沢町が面した街道は、三田城下町からどこに向かったのでしょうか？やはり、播磨国美禰郡です。

三田市域の江戸時代以前の道路網については、武庫川の右岸・左岸ごとにきちんとした整理が必要ですが、市域が摂津と丹波・但馬はもとより播磨と結ぶ要衝として非常に大きな位置を占めたことは間違いないです。そもそもなぜ三田の地に城下町が置かれたのかについても、巨大都市大坂や大國播磨との接点であることを考慮する必要があると思います。

上井沢の「灯籠」は、立地や形態からみて摂津と播磨を結ぶ街道に面した町を照らす常夜灯であったと思われる。この常夜灯は、摂津と播磨との結節点という今は忘れられた地域の地理的・地政的位置を象徴する貴重な遺構です。

三田市 地域共創部 部長 印藤 昭一 著

定年後はリタイアせず…

夢と希望のリスタート!

三田市内にお住まいの60歳以上で、健康で働く意欲がある高齢者の方にご入会いただき、それぞれの希望に応じたお仕事を紹介するところです。

「ハローワーク」でのご紹介や、人材派遣業とは違い、生活を支えるような収入を得ることはできませんが、お小遣い程度の収入を得たり、地域社会への貢献や、ご自身の健康維持・生きがい作りとして、お仕事していただくことを目的としています。

入会には、「入会説明会」への参加が必要で、シルバー事業にご理解いただいたうえで、ご入会いただくこととなっています。

入会説明会のご案内

毎月第2金曜日 13:30~

約1時間

当センターにて開催 **お電話でOK!**

前日までに要事前予約

ご夫婦での入会で、
会費免除制度アリ!

詳しくは事務局まで…



TEL:079-564-7501

お仕事のご依頼は…

ご家庭内で…草引き、植木剪定、散水、簡単な修理、家具の移動など。

事業所、工場などで…新たに従業員を増やす程でもないような清掃作業、梱包作業、検品作業など、主に反復性のある作業又は、請負による植木剪定、除草作業など。

ご依頼に応じて、下見、見積をさせていただきます。
お気軽にご相談ください。



HP QRコード